

『放課後等デイサービス自己点検及び評価シート』

作成日： 令和5年4月18日

事業所名： ここなくらぶ北野田

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・ 体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	確保済み
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	配置済み
	③送迎体制・添乗員の確保	確保できている
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	環境整備できている
	⑤職員の健康診断の実施	年に1度実施
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	送迎時の会話、アンケートでの情報収集。朝礼・終礼での情報共有を通してのフィードバックを行っている。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 (障害児通所支援事業者育成事業利用の有無)	半年ごとに虐待防止の資料読み合わせを実施。月に1度の研修。
	③虐待防止等のための責任者を設置	配置済み
	④利用児、保護者からの苦情や意見への対応及び事業運営への反映	問い合わせ等には適宜対応している。 必要に応じて、法人代表等と連携をとっている。 本年度は大きな問題がなかった。
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による放課後等デイサービス計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	半年に1度の更新。 必要があれば適宜対応している。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	モニタリングは月に1度実施。 必要に応じて計画の見直しも行う。

	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	個別支援計画に合わせて実施
	④ミーティング等の実施	毎日の朝礼・終礼
	⑤支援内容の記録	業務日次報告書に支援内容及び児童の行動について記録を残している。
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	コロナ環境下によりほとんど実施されていない。連絡が取りにくい、相談支援事業所の担当者が多い。
	②学校との連携	お迎え時に生活情報や対応の方法などについて情報共有を行っている。
	③他の放課後等デイサービス事業所、障害福祉サービス事業所等との連携	児童の状況に応じて、連絡を取ることはあるが、あまりできていない。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制	対象児童の利用はなし。
	⑤学校を卒業する際の就労移行支援（引継ぎ等）、就学前施設との連携（情報共有・引継ぎ等）	依頼なし
	⑥「あい・ふぁいる」の活用	あい・ふぁいるを活用している保護者がいないため、活用できていない。
	①事業所で実施している支援（支援内容、プログラムなどを記載してください。）	工作（季節の壁飾り、手先を使う工程を意識した作品作り） 季節ごとのイベント

5 保護者への説明責任等	②運営規程、支援内容、利用者負担の説明	契約、変更時に実施
	③保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	実施している。
	④会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	月に1度、作成し配布している。
	⑤日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	連絡帳への記載、送迎時の直接報告
	⑥おやつ代等実費徴収している費用に係る領収書の発行、精算報告	発行している。
	⑦身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	対象児童の利用なし。
	⑧個人情報の適切な取扱い	鍵付き書庫で保管
6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の整備と職員、保護者への周知	マニュアルは準備し見やすい所へ掲示 保護者へは契約時に実施
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	半年ごとに実施
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	日報での収集・確認を通し、共有している。

	<p>④サービス提供中の事故を防ぐための取組等</p>	<p>子供の飛び出しや扉の施錠等の取り扱いは当然の事として取り組んでおり、可能な限り、職員は子供の動きに目を配るようにしている。</p>
	<p>⑤感染症対策の実施</p>	<p>アルコール消毒、マスクの着用での対応。</p>
<p>7 その他</p>	<p>① 地域との交流</p>	<p>なし</p>